

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	コーチング論	2	松永 敏	
平成25年度以前	コーチング論	2		
教職				教職
授業の到達目標及びテーマ スポーツにおいては、コーチの役割は選手成功の鍵を握っていると言っても過言ではない。 この授業では、指導者および選手両方の立場からコーチングとは何かを捉えて、現役選手がコーチを理解する、あるいは指導者を目指すものとして学ぶことを目的とする。				言語
授業の概要 先ず、指導方法にはTeachingとCoachingの2種類があり、その使い分けの重要性を説く。グローバルな視点から海外と日本のコーチングの違いを見つめ、今後のスポーツコーチの在り方を考える機会をつくる。また、選手の能力を伸ばす言葉のテクニックや、指導者が選手から学ぶ能力の必要性について説く。				共通
授業計画 第1回: ガイダンス 第2回: スポーツ指導者とは(指導者の心構え・視点) 第3回: TeachingとCoachingの違い 第4回: 日本と海外コーチングの違い(心、技、体) 第5回: 競技者育成プログラムの理念 第6回: コーチングのコツ(於: 体育館) 第7回: 指導計画のたて方 I (PLAN・DO・SEE) 第8回: 指導計画のたて方 II (選手が伸びるきっかけ) 第9回: 戦術について(スカウティング) 第10回: 指導者の体罰について考える 第11回: スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 第12回: 選手から学ぶコーチング(基本とは) 第13回: スポーツと人権 第14回: 理想の指導者とは 第15回: まとめ 【テスト】 【履修上の注意事項】 体育館での授業は、必ず運動用の服装及び体育館用シューズを着用のこと。 既往症のあるものは、予め診断書なり証明できるものを持参すること。				専門基礎
テキスト その都度プリント配布				法律一般
参考書・参考資料等 特になし				政治行政
学生に対する評価 評価方法は、15回の授業を通して学習意欲、毎回の感想文、理論テスト結果の総合による。				経営法務
				スポーツ福祉
				演習
				25年度以前
				専門基礎科目